

令和3年3月17日

農業改良普及課
技術指導関係グループ班長 殿
関係各位

農業総合試験場
企画普及部広域指導室
(作物担当)

2021 Aichi 麦作管理支援情報 第3号

- 気温は、1月中旬以降平年に比較して高めに推移しています。
- 作物研究部作物研究室の麦生育診断情報（3月16日現在）によると、出穂期は平年比で「きぬあかり」、「ゆめあかり」ともに4日～7日早と予測されています。
- 気温が上がり降雨が多くなると湿害の発生が危惧されます。排水対策を行うことにより、出穂期と登熟期間の湿害を軽減できますので、明きよの点検と補修を指導して下さい。
- 令和3年3月12日に赤さび病の注意報が発表されました。本年の気象要件が本病の多発した平成27年、28年と類似しています。多発すると葉が早期に枯れ上がり収量や品質が低下するため、発生初期から防除をするように指導して下さい。
- なお、病害虫の発生状況については、「あいち病害虫情報」を確認して下さい。<http://www.pref.aichi.jp/byogaichu/>

添付資料：令和3年産麦生育診断情報（第3報）愛知農総試作物研究部作物研究室発行

連絡先：農総試企画普及部広域指導室 電話 0561-62-0085 内線 308

情報提供先：農業経営課技術調整G、園芸農産課稲・麦・大豆G、各農業改良普及課技術指導関係G、農業大学校、環境基盤研究部病害虫防除室、同病害虫研究室、作物研究部作物研究室、同水田利用研究室、山間農業研究所稲作研究室、愛知県経済農業協同組合連合会、愛知県農業会議、愛知県農業協同組合中央会、愛知県農業共済組合、愛知県米麦振興協会、愛知県製粉協会